

大阪シティ信用金庫と地域社会

大阪シティ信用金庫は、お客さま(地域)・金庫・職員の三者相互の発展と幸せを築く「三者共栄」の経営理念と「信頼で地域とつながる」のスローガンのもと、地域金融機関として、持続的発展が可能な地域社会の実現に向けて、地元の事業者や個人の皆さまとの絆を深めてまいります。

イメージ
キャラクター

三倉 茉莉



三倉 佳奈



お客さまの課題解決に向けて 各種支援・サポート態勢

地域の事業者へのサポート

お取引先の経営課題の解決に向け、課題解決型金融や事業承継、経営改善のほか環境経営に向けた支援等に積極的に取り組んでいます。それらの推進拠点として淀屋橋オフィスに続き、新たに八尾オフィス、QUINTBRIDGEオフィス、吉田オフィスを開設しました。スタートアップやDX支援等の相談機能を拡充・強化するとともに、より一層スピーディーな対応で課題解決に取り組めます。

また、2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」への出展支援事業に取り組んでいます。当金庫の展示企画「未来の生活スタイル～スマートルーム～」をテーマに「健康な生活・快適な生活・サステナブルな生活」の実現につながるような製品・技術・アイデア等を持つ中小・スタートアップ企業を発掘・支援することで、その成長・発展を目指します。



お客さまのニーズに対応した商品・サービス

お客さまとともにSDGs達成に向けた取り組みを継続して行っています。契約額に応じて当金庫が寄付金を拠出する定期積金を発売し、大阪府の緑化支援事業「みどりの風の道 形成事業」や、障がい者雇用の促進を支援する「大阪ハートフル基金」を支援しています。また、当金庫が取り扱う投資信託の購入時手数料(消費税除く)の総額の1%相当額を「子ども輝く未来基金」に寄付するプロジェクトも実施しました。

さらに、お客さまの利便性向上に向け、通帳・キャッシュカードの裏面に各種お手続きが申し込める当金庫ホームページの二次元バーコードを掲載しました。



地域の課題解決に向けて 地域の持続的な発展への貢献

地域社会への還元・社会貢献活動

令和4年11月、社会福祉法人大阪府共同募金会、ブックオフコーポレーション株式会社と「地域社会における『SDGsの普及推進』と『地域福祉の推進』に係る連携と協力に関する協定」を締結し、三者連携による「古書等回収による募金活動」を開始しました。この活動は、当金庫の営業店に設置する回収ボックスに、来店客・役職員等が読み終えた古書等を入れ、同社が回収・査定し、その買取代金を同募金会に寄付するもので、地域の持続可能な発展と地域福祉活動を支援します。

また、令和5年3月には、市民サービスの向上、地域社会の持続的な発展の推進などを目的に、羽曳野市と包括連携協定を締結しました。この協定に基づき、地域の活性化、安全・安心な暮らし、産業振興に取り組むとともに、地域の事業者の環境経営のサポートなどに取り組めます。



特殊詐欺未然防止への取り組み

お客さまの大切なご預金をお守りするため、大阪府警察と連携し全店をあげて特殊詐欺被害の未然防止に取り組んでいます。令和4年度には、預金小切手を利用した「預手プラン」の実施や積極的な「声掛け運動」により、被害を未然に防止したとして3店舗が警察署長から感謝状を拝受、大阪府金融機関防犯対策協議会からも4店舗が表彰されました。

また、各営業店の地元警察署等と連携した特殊詐欺被害未然防止にかかる啓発活動のほか、店頭や訪問活動時、あるいはホームページ等を通して特殊詐欺に関する注意喚起や情報提供等にも取り組んでいます。

